

平成30年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社かんなん丸 上場取引所 東
 コード番号 7585 URL http://www.kannanmaru.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 榮治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 宮永 一彦 TEL 048-881-9056
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績（平成29年7月1日～平成30年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	3,272	△12.2	△101	—	△96	—	△477	—
29年6月期第3四半期	3,726	△9.9	26	△78.0	29	△75.6	4	△91.6

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 △478百万円 (—%) 29年6月期第3四半期 5百万円 (△87.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	△125.30	—
29年6月期第3四半期	1.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第3四半期	3,488	2,770	79.4
29年6月期	3,939	3,309	84.0

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 2,770百万円 29年6月期 3,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	0.00	—	16.00	16.00
30年6月期	—	0.00	—	—	—
30年6月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年6月期の連結業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,231	△13.7	△133	—	△131	—	△514	—	△134.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年6月期3Q	4,351,308株	29年6月期	4,351,308株
② 期末自己株式数	30年6月期3Q	539,703株	29年6月期	539,651株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年6月期3Q	3,811,638株	29年6月期3Q	3,811,683株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計上の見積りの変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な世界経済を背景に企業収益や雇用環境が改善され、緩やかな回復基調が続きましたが、個人が景気の回復を十分に認識するまでには至らず、海外における政治、経済の不安定感から引き続き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては食材価格の高止まりや人件費の高騰に加え、更なる業態を超えた顧客獲得競争の激化により経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況の下、当社グループは不採算店舗の閉店、経営資源の合理化、店舗オペレーションの再構築、出店戦略の見直しを通じて、既存店の生産性向上を図ってまいりました。地域一番店を目指す方針に基づき、新たに人材の登用、積極的な発掘を行い、また「わざわざご来店いただいたお客様」にご恩返しするため、お客様へのきめ細かい施策を実施してまいりました。

当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、大衆割烹「庄や」33店舗、「日本海庄や」33店舗、気楽な安らぎ処「やるき茶屋」10店舗、カラオケルーム「うたうんだ村」5店舗、もつ専門料理「東京芝浦もつ丸」1店舗、旬菜・炭焼「炉辺」1店舗の合計83店舗となっております。

なお、当社グループにて新業態「大衆すし酒場」の当期中の開店を目指しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,272,539千円(前年同四半期比12.2%減)、売上総利益は2,359,415千円(前年同四半期比12.4%減)、販売費及び一般管理費については2,461,051千円(前年同四半期比7.7%減)となり、営業損失は101,635千円(前年同期は営業利益26,106千円)となりました。経常損失につきましては96,710千円(前年同期は経常利益29,570千円)となりました。特別損失として減損損失302,444千円、店舗閉鎖損失45,337千円を計上したことにより、税金等調整前四半期純損失は445,439千円(前年同期は税金等調整前四半期純利益27,867千円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は477,611千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益4,025千円)となりました。

なお、当社グループは、料理飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,816,826千円となり、前連結会計年度末に比べて125,323千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が120,930千円減少したことによるものであります。

また、固定資産は1,671,391千円となり、前連結会計年度末に比べて325,803千円の減少となりました。これは主に、固定資産の減損損失302,444千円、減価償却費118,750千円を計上したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は554,521千円となり、前連結会計年度末に比べて139,112千円の増加となりました。これは主に、資産除去債務が128,261千円増加したことによるものであります。

また、固定負債は163,410千円となり、前連結会計年度末に比べて50,662千円の減少となりました。これは主に、資産除去債務が52,371千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,770,285千円となり、前連結会計年度末に比べて539,576千円の減少となりました。これは、配当支払による減少及び四半期純損失の計上の結果、利益剰余金が538,598千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成29年8月14日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳しくは平成30年2月14日に公表しました「特別損失の計上、繰延税金資産の取崩し及び第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,775,092	1,654,161
売掛金	37,739	46,391
商品	57	—
原材料	33,242	32,284
前払費用	68,196	64,160
その他	27,822	19,827
流動資産合計	1,942,150	1,816,826
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	790,337	509,448
その他(純額)	332,781	310,046
有形固定資産合計	1,123,119	819,495
無形固定資産	13,991	13,514
投資その他の資産		
差入保証金	769,434	744,281
その他	105,633	108,283
貸倒引当金	△14,984	△14,183
投資その他の資産合計	860,083	838,381
固定資産合計	1,997,194	1,671,391
資産合計	3,939,344	3,488,217
負債の部		
流動負債		
買掛金	94,817	96,390
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	38,199	12,483
未払法人税等	14,326	1,960
賞与引当金	1,820	8,000
店舗閉鎖損失引当金	6,362	37,425
資産除去債務	13,284	141,546
その他	236,599	246,716
流動負債合計	415,409	554,521
固定負債		
長期借入金	2,068	—
資産除去債務	143,203	90,832
その他	68,801	72,578
固定負債合計	214,073	163,410
負債合計	629,482	717,932

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,100	275,100
資本剰余金	88,500	88,500
利益剰余金	3,556,304	3,017,706
自己株式	△621,974	△622,074
株主資本合計	3,297,929	2,759,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,931	11,052
その他の包括利益累計額合計	11,931	11,052
純資産合計	3,309,861	2,770,285
負債純資産合計	3,939,344	3,488,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	3,726,426	3,272,539
売上原価	1,033,205	913,123
売上総利益	2,693,220	2,359,415
販売費及び一般管理費	2,667,114	2,461,051
営業利益又は営業損失(△)	26,106	△101,635
営業外収益		
受取利息	243	201
受取配当金	295	807
受取家賃	—	806
保険解約返戻金	—	564
協賛金収入	1,476	500
貸倒引当金戻入額	891	800
その他	843	1,453
営業外収益合計	3,751	5,133
営業外費用		
支払利息	286	208
営業外費用合計	286	208
経常利益又は経常損失(△)	29,570	△96,710
特別損失		
固定資産除却損	1,703	947
減損損失	—	302,444
店舗閉鎖損失	—	45,337
特別損失合計	1,703	348,729
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	27,867	△445,439
法人税、住民税及び事業税	22,594	7,048
法人税等調整額	1,246	25,123
法人税等合計	23,841	32,172
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,025	△477,611
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,025	△477,611

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,025	△477,611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,965	△879
その他の包括利益合計	1,965	△879
四半期包括利益	5,991	△478,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,991	△478,490
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積額の変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用及び店舗の使用見込期間に関して見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額94,274千円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、この変更に伴って計上した有形固定資産については、全額減損損失として処理をいたしましたので、当該見積りの変更の結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期当期純損失は94,274千円増加しております。